

○保育士B専門試験問題例

問1 保育所保育指針第1章総則に関する次の記述について、(1) ~ (10) にあてはまる語句を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。なお、() に同じ数字が記載されている場合は、同じ語句があてはまる。

- A 保育所は、(1) 計画に基づき、具体的な保育が適切に展開されるよう、子どもの生活や発達を見通した(2) 指導計画と、それに関連しながら、より具体的な子どもの日々の生活に即した(3) 指導計画を作成しなければならない。
- B 指導計画においては、保育所の生活における子どもの(4) を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的な(5) 及び内容を設定すること。
- C 一日の生活のリズムや在園時間が異なる子どもが共に過ごすことを踏まえ、(6)、緊張感と解放感等の(7) を図るよう配慮すること。
- D 長時間にわたる保育については、子どもの(4)、生活のリズム及び(8) に十分配慮して、保育の内容や方法、職員の(9)、家庭との連携などを指導計画に位置付けること。
- E 障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの(4)や障害の状態を把握し、(10) の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置づけること。

【語句群】

ア. 連携体制	イ. 発達過程	ウ. 目的	エ. 活動と休息
オ. 短期的な	カ. 発達状況	キ. 適切な環境	ク. 全体的な
ケ. 中期的な	コ. 調和	サ. 長期的な	シ. ねらい
ス. 養護的な環境	セ. 協力体制	ソ. 心身の状態	

問2 児童福祉法において定められている児童福祉施設について、次の記述はいずれの施設の説明であるか、下記の語句群から選び、記号で答えなさい。

- A 保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護する施設。
- B 不良行為をなし、またはなすおそれのある児童および家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、または保護者の下から通わせて個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援する施設。
- C 障害児を日々保護者の下から通わせて、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供する施設。
- D 児童遊園、児童館等児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする施設。
- E 保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦を入所させて、助産を受けさせる施設。

【語句群】

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| ア. 母子生活支援施設 | イ. 乳児院 | ウ. 児童厚生施設 |
| エ. 児童養護施設 | オ. 助産施設 | カ. 児童発達支援センター |
| キ. 児童自立支援施設 | ク. 児童心理治療施設 | ケ. 児童相談所 |

問3 乳児の原始反射について述べたものである。次のA～Eの記述について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」をつけなさい。

A 手のひらに指などをおくと、その指を握ろうとすることを把握反射という。

B バビンスキー反射とは、足底をかかとから指先へと刺激すると、足の親指が足の甲のほうに反り返る反射である。

C 脇の下を支え、床に立たせると、下肢を交互に動かし、歩いているような動作をすることをモロー反射という。

D 本能的に口の縁に触れたものを何でも吸うことを吸引反射という。

E 遊泳反射とは、うつ向けで水につけると、腕と足を使って泳ぐような動作をすることをいう。

問4 保育所保育指針第1章総則の中の「育みたい資質・能力」に関する次の記述について、(A)
～(E)にあてはまる語句を下記の語句群から選び、番号で答えなさい。

- ・ 豊かな(A)を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」
- ・ 気付いたことや(B)ことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、(C)、表現力等の基礎」
- ・ (D)、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、(E)等」

A	1. 体験	2. 活動	3. 環境
B	1. できるようになった	2. 関心をもった	3. 興味をもった
C	1. 生活力	2. 挑戦力	3. 判断力
D	1. 心情	2. 知識	3. 道徳
E	1. 協同性	2. 人間性	3. 自立心

問5 「6つの基礎食品」に関する次の記述について、(A) ～ (E) にあてはまる語句を記入
しなさい。

第1群：「魚、肉、卵、大豆」

主としてたんぱく質の供給源。(A) や骨を作り、エネルギー源となる。

第2群：「牛乳、乳製品、骨ごと食べられる魚」

主として (B) の供給源。骨や歯をつくり、身体の機能を調節する。

第3群：「緑黄色野菜」

主として (C) の供給源。皮膚や粘膜を保護し、身体の機能を調節する。

第4群：「その他の野菜、果物」

主として (D) の供給源。身体の機能を調節する。

第5群：「米、パン、めん、いも」

主として (E) の供給源。エネルギー源になる。身体の機能を調節する。

第6群：「油脂類、多脂性食品」

主として脂質の供給源。エネルギー源になる。

問6 「プール活動・水遊びの際に注意すべきポイント」について、述べなさい。

問7 5歳児クラスのAちゃんは何でも「1番」に固執し、たびたび友だちとトラブルになってしまいます。また、Aちゃんは次の活動に移行する際、切り替えが苦手で、集団行動から外れてしまうことがよくあります。Aちゃんに対して、どのように対応するか、あなたの考えを述べなさい。

問8 子どもの生活が豊かなものとなるような保育環境に必要なことは何か、あなたの考えを述べなさい。(800字程度)